

◎南半球における母船によるミンク鯨の捕鯨の規制に関する

日本国とソヴィエト社会主义共和国連邦との間の取極

(略称) ソ連邦との一九八一年における南半球ミンク鯨

捕鯨規制取極

昭和五十五年 十月二十八日 東京で署名  
昭和五十五年 十月二十八日 効力発生  
昭和五十五年 十一月二十五日 告示

(外務省告示第四〇五号)

前文	目次	ページ
第一条 解禁期		一五〇七
第二条 ミンク鯨の割当頭数の配分		一五〇七
第三条 区域における捕鯨頭数		一五〇八
第四条 取極の終了		一五〇九
第五条 効力発生		一五〇九
第六条 有効期間		一五一〇
末文		

(訳文)

南半球における母船によるミンク鯨の捕鯨の規制に関する  
日本国とソビエト社会主義共和国連邦との間の取極

前文

千九百四十六年十一月一日ビラムにて署名された国際捕  
鯨取締約（以下「条約」といふ）の締約政府である日本国及  
びソビエト社会主義共和国連邦の政府は、

次のとおり協定した。

## 第一条

この取極の適用上、「解禁期」とは、条約の付表2及び4  
の規定に基づき南半球におけるミンク鯨の捕獲が許される期間  
をさう。

## 第二条

The Governments of Japan and of the Union of Soviet Socialist Republics, being Parties to the International Convention for the Regulation of Whaling, signed at Washington on December 2, 1946 (hereinafter referred to as "the Convention"),  
Have agreed upon the following arrangements:

ARTICLE 1

For the purpose of the present Arrangement, the term "season" shall mean the season during which the taking of minke whales in the Southern Hemisphere is permitted under subparagraphs (b) and (d) of paragraph 2 of the Schedule to the Convention.

## ARTICLE 2

In the 1980/81 season, of the total quota of minke whales, authorized under the Convention to be taken in the Southern Hemisphere by pelagic expeditions, the quota allotted to Japan and the Union of Soviet Socialist Republics shall be allocated between the two countries in the following manner:

日本国

111,111〇頭

Japan ..... 3,120

→連邦との一九八一年における南半球ミンク鯨捕鯨規制取極

ARRANGEMENT BETWEEN JAPAN AND THE UNION OF SOVIET SOCIALIST REPUBLICS FOR THE REGULATION OF PELAGIC WHALING FOR MINKE WHALES IN THE SOUTHERN HEMISPHERE

第三条

(1)

次のじずれかの区域におけるじずれか一方の政府の管轄下にある母船による捕獲頭数は、次の限度を超えてはならない。

(1) The catches taken in any of the Areas as described below by pelagic expeditions under the jurisdiction of either Government shall not exceed the limits shown below:

(i) Area I 120°W - 60°W

Japan .....	455
Union of Soviet Socialist Republics .....	455

Area II 60°W - 0°	
Japan .....	172
Union of Soviet Socialist Republics .....	172

Area III 0° - 70°W	
Japan .....	619
Union of Soviet Socialist Republics .....	618

Area IV 70°E - 130°E	
Japan .....	1,193
Union of Soviet Socialist Republics .....	1,193

Area V 130°E - 170°W	
Japan .....	625
Union of Soviet Socialist Republics .....	625

ARTICLE 3

(1)	第一区域 (西経百一十度から西経六十度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦
(ii)	第二区域 (西経六十度から零度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦
(iii)	第三区域 (零度から東経七十度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦
(iv)	第四区域 (東経七十度から東経百三十度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦
(v)	第五区域 (東経百三十度から西経百七十度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦

(ii)	第一区域 (西経百一十度から西経六十度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦
(iii)	第二区域 (西経六十度から零度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦
(iv)	第三区域 (零度から東経七十度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦
(v)	第四区域 (東経七十度から東経百三十度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦
(vi)	第五区域 (東経百三十度から西経百七十度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦

(ii)	第一区域 (西経百一十度から西経六十度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦
(iii)	第二区域 (西経六十度から零度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦
(iv)	第三区域 (零度から東経七十度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦
(v)	第四区域 (東経七十度から東経百三十度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦
(vi)	第五区域 (東経百三十度から西経百七十度まで)	日本国	ソヴィエト社会主義共和国連邦

(vi) 第六区域 (西経百七十度から西経百一十度まで)

日本国

ソヴィエト社会主義共和国連邦

111111111  
ソビエト連邦

(vi) Area VI 170°W - 120°W

Japan .....

Union of Soviet Socialist Republics .....

ソビエト連邦

233

234

(2) (1)の規定にかかわらず、いずれか一方の政府の管轄下にある母船による区域別の捕獲頭数の合計は、前条においてそれぞれの国に配分された割当頭数を超えてはならない。

第四条

了取極の終

この取極の締約政府でない政府の管轄下にある母船が南半球におけるミンク鯨の捕鯨に従事し、かつ、当該政府が条約の締約政府であり又は締約政府となつた場合には、この取極は、終了する。

第五条

この取極は、前文に掲げる政府によって署名された日に効力を生ずる。

第六条

ARTICLE 4

If a factory ship under the jurisdiction of a Government which is not a Party to the present Arrangement should engage in pelagic whaling for minke whales in the Southern Hemisphere and that Government is or becomes a Party to the Convention, the present Arrangement shall be terminated.

ARTICLE 5

The present Arrangement shall enter into force on the day upon which it is signed by the Governments referred to in the preamble.

ARTICLE 6

This Arrangement shall be operative until the end of the 1980/81 season.

この取極は、千九百八十年・千九百八十一一年解禁期の終了まで実施する。

有効期間

ソ連邦との一九八一年における南半球マシント鯨捕鯨規制取極

以上の証拠として、下名は、各自の政府から正当に委任を取  
けたこの取極に署名した。

千九百八十年十月二十八日に東京で、英語により本書一通を  
作成した。

日本国政府のために

深田 宏

ソヴィエト社会主義共和国連邦政府のために

D・S・ボリヤンスキイ

For the Government of Japan:

(Signed) Hiromu Fukada

For the Government of the Union  
of Soviet Socialist Republics:

(Signed) D.S. Polianskii

In witness whereof the undersigned, being  
duly authorized thereto by their respective  
Governments, have signed the present Arrange-  
ment.

Done in duplicate at Tokyo, the 28th day  
of October, 1980, in the English language.

(参考)  
この取極は、国際捕鯨取締条約の締約国である日本国及びソヴィエト社会主義共和国連邦の両政府  
間において一九八〇年・一九八一年解禁期の南半球における捕鯨規制について定めたものである。